

おさめがわ村

No
149

平成29年7月

みんなの言義会だよ

題字：青生野小学校

6年 森田 ^{すみれ}遥麗さん

すずしく、うれしい！
プールあそび！！
よろこぶ園児たち（屋内プール）

6月定例会

定住促進整備、学校条例改正^{など}可決！

6月定例議会 …………… 2～4

政策提言特別委員会設置 5

一般質問に8議員登壇 …………… 6～14

追跡！あの一般質問 …………… 15

自立する上野村視察 …………… 16

村民の広場 …………… 17

ふるさと鮫川への想い …………… 18

6月
定例会

来春の統合に向けて 学校条例改正



大樂勝弘 村長

6月定例会の あらまし

6月定例会が6月7日から9日までの3日間の会期で開催されました。

第1日目に、一般質問を行い8議員が登壇し青生野小学校の統合などを取り上げ、村政をたどりました。また、報告2件の後、平成28年度補正予算及び条例の一部改正2件の専決処分を承認しました。条例の改正は小学校中学校条例の一部改正を含む条例6件、平成29年度補正予算7件の提案理由の説明がありました。農業委員会委員に占める認定農業者の割合の変更を含む、農業委員会委員の任命同意9件については全会一致で同意可決し、議員発議1件を可決し

ました。追加提案された工事請負契約の締結の提案理由の説明がありました。

第2日目に、総務文教常任委員会と産業厚生常任委員会の合同議案調査を開き議案を審議しました。

最終日に、審議した条例、補正予算、工事請負契約の締結を含めた14議案を原案のとおり可決し、議員発議による提出議案「議会政策提言検討特別委員会の設置に関する決議」を全議員で可決しました。追加提案された人事1件を審議した後、閉会中の継続審査を許可して、閉会しました。

農業振興費、道路新設改良費など 一般会計2686万円増額

鮫川村立小学校及び中学校条例の改正は、平成30年4月1日から、青生野小学校が鮫川小学校と統合するために、条例の一部を改正するものです。小学校統合については、平成15年に西野小、西山小、富田小、渡瀬小が鮫川小と統合した以来となり、村内の小学校は1校となります。

(9頁に関連記事)

となった青生野小学校

補正予算

平成29年度一般会計の補正予算(第1号)は原案のとおり2686万円を増額可決し、歳入歳出とも31億686万円となりました。

今回の補正予算は、東日本大震災農業生産対策補助金として、2つの農業生産法人に対する飼料生産機械導入のための補助金交付とともに、米全袋検査機器のオーバーホール業務委託費の補正増が全体の9割以上を占めました。他に、道路新設改良費として測量設計業務委託料や集会所施設修繕事業費補助金の増額が主な内容となっています。

袋検査機器のオーバーホール業務委託費の補正増が全体の9割以上を占めました。他に、道路新設改良費として測量設計業務委託料や集会所施設修繕事業費補助金の増額が主な内容となっています。

平成29年度 補正予算

6月定例補正予算の状況

会計別		補正額	補正後の予算額
一般会計		2686万円増	31億686万円
特別会計	国保		
	事業勘定	54万7千円増	5億4180万円
	直診勘定	34万円増	6583万8千円
	簡易水道事業	121万7千円増	1億1641万4千円
	介護保険	1万9千円増	4億5814万9千円
	学校給食	252万9千円減	9835万5千円
	後期高齢者	2万6千円増	3639万円
合計		2648万円増	44億7606万3千円



長年にわたり「地域教育の礎」

6月定例補正予算の主な事業

歳出		歳入	
東日本大震災農業生産対策補助金	1776万5千円追加	東日本大震災農業生産対策交付金	1776万5千円追加
米全袋検査機器オーバーホール業務委託料	863万円追加	ふくしま恵みの安心・安全推進事業費補助金	862万9千円追加
村道水口大沢線改良 測量設計業務委託料	243万円追加	社会保障・税番号制度システム開発経費補助金	30万2千円追加
60年 村税継続完納記念品	62万4千円追加	国保特別会計(事業勘定)繰入金	1500万円追加
集会施設改修事業費補助金	58万9千円追加	(保険給付費支払準備基金から繰入れ)	

報告がありました

繰越明許費繰越計算書について

一般会計は村道新宿古殿線舗装補修事業ほか7事業。特別会計は交流施設管理事業の1事業。

白河地方土地開発公社の経営状況について

村が出資している白河地方土地開発公社の平成28事業年度の経営状況について、議会に説明資料が提出されました。

条例改正をしました

鮫川村簡易水道条例の一部を改正

西部地区の給水区域に草牛地区を追加することに伴い、一部改正するもの。

議員発議し、可決しました

鮫川村議会委員会条例の一部を改正

村課設置条例の一部改正に伴い、常任委員会が所管する課の名称を改廃するもの。

◆提出者 関根 英也

◆賛成者 北條 利雄 外3名

◆本会議 全員賛成で可決

議会政策提言検討特別委員会設置に関する決議

◆提出者 北條 利雄

◆賛成者 堀川 照夫 外7名

◆本会議 全員賛成で可決

(5頁に関連記事)

人事案件がありました

鮫川村固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

中川西 安男(大字石井草字森ノ前)

定住住宅の路線整備など



大型道路改良が計画されている水口大沢線(西山・みやぎ会西側)

水口大沢線測量委託、農業生産対策補助金他を集中審査

6月定例議会において提出された条例改正や一般会計補正予算など、27件の議案について、総務文教常任委員会と産業厚生常任委員会の合同議案調査が行われました。

総務文教常任委員会

問 議会、村長、職員の費用弁償条例の改正は

答 県外出張時の日当支払いの復活

問 小学校及び中学校条例を改正する理由

答 来春より青生野小学校が統合するための改正

問 集会所施設改修補助金の内訳

答 西野区民センターのトイレ洋式化、渡瀬区民集会所の塗装、塩倉集会所の床張り工事補助金

問 基礎学習向上推進支援事業の内訳

答 中学3年生の学習塾講師謝金

問 メール配信システムの内訳

答 保護者との緊急連絡網のシステム確立

産業厚生常任委員会

問 東日本大震災農業補助金の内訳は

答 農業法人2社への飼料生産機械導入補助

問 ふくしま恵みの安心・安全推進事業費

答 米全袋検査機械のオーバーホール点検費

問 災害復旧工事箇所買収費

答 西野塩倉地内の用地買収
問 障害者福祉相談員支援事業
答 相談員増員の委託料

問 村道水口大沢線改良費

答 大沢側道路改良の測量委託費

問 住宅太陽光システム補助金

答 当初見込みより申し込増の補正(1KW3万5千円の補助、上限14万円)



点検修繕が行われる米全袋検査機械



一部助成を受けて改修する集会所

【議案調査とは】
1年に4回開催される定例議会において、村から提出される各議案や条例の改正について、その理由や必要性を担当課より説明を受け、議員が審議・表決するための重要な調査です。

政策立案で人口減少を食い止めよ！

村議会は人口減少や高齢化社会に対応する将来の村づくりの対応策として、政策提言検討特別委員会の設置を6月定例議会に発議し、全会一致で設立を可決しました。

議員任期は後2年を切りましたが、任期中に委員会を開催し政策提言をまとめ、議長に答申することとしています。

政策提言

村議会初の政策提言検討特別委員会設置

未来を見据えた提言に期待！



議員発議で上程し、提案理由を述べる発議議員代表

【政策提言検討特別委員会の概要】

- 名称 鮫川村政策提言検討特別委員会
- 目的 鮫川村の行政執行に必要と認める事業の調査研究を行い、村長に提言するもの
- 期間 現議会の任期内とする
- 委員長 北條 利雄
- 副委員長 堀川 照夫
- 委員 遠藤 貴人 京條 英征 関根 英也 前田 雅秀
関根 政雄 前田 武久 宗田 雅之

【特別委員会】

特別委員会は必要がある場合において議会の議決で設置することができます。過去においては議会改革特別委員会、建設工事調査特別委員会が設置された経緯があります。特別委員会は常任委員会と同様に、原則一般村民の傍聴も可能となります。

議員 8人が登壇 スバリ!! 村政を問う!



宗田 雅之 議員
 P 7
 ① 施設の集約化
 ② 強滝の整備

遠藤 貴人 議員
 P11
 ① 学校の制服制定
 ② 学校施設整備

京條 英征 議員
 P 8
 ① さめがわ村黄金の
 トライアングル構想

関根 英也 議員
 P12
 ① 湯の田温泉の活用

堀川 照夫 議員
 P 9
 ① 青生野小学校の統合の経過

北條 利雄 議員
 P13
 ① 事務事業の評価制度の導入
 ② 公共工事の適正施工手引書の制定
 ③ 政策条例化の体制整備

関根 政雄 議員
 P10
 ① 集落間の組の維持策
 ② 農業の振興と鳥獣被害対策

前田 武久 議員
 P14
 ① 諮問機関の見直し



宗田 雅之 議員

定住施策

問 人口減少に伴う施設の集約化は

答 それぞれの大字の賑わいを創出していく



問われる空き家対策と集約化

質問

人口減少が進む中、子供たちの安全安心、村施設への利便性、送迎への負担軽減などを鑑み、分譲地、村営住宅の設置計画は、学校周辺に集約し、中心地の空洞化対策と合わせ

て、総合的に検討すべきでは。

答弁(村長)

人口減少、地域の活性化には、周辺地域の整備によっても、一定の効果があるものと考えられる。中心地への集約

化は、空き家、空き地を含めて、ある程度の面積を取得できれば、可能であると思う。今後どのように展開していくことが効果的、効率的か、皆さんの意見を頂戴しながら、検討していく。

再質問

高齢化、単身化に伴い周辺に空き家、空き地が増加する中、集約しなかった時の、将来的な子供たちの安全、安心はどうか。また若者たちの要望、費用対効果を踏まえて検討しては。

答弁(村長)

多くの若い人たちの声の中に、中心地の賑わい、活性化という声が多く出されたが、住宅地は周辺部に、中心地には住宅とは別の賑わいを図っていきたいと考える。

再質問

村として、空き家問題に、どのような方針で取り組むのか、一連の手続きをどう進めるのかなど、事前に村民に知らせることも、事後の対応が円滑に進むのではないか。また、国の特措法の利用の考えは。

答弁(村長)

村としては、特措法の利用ではなく、所有者が確認できるので、話し合いの中で、空き家対策に取り組んでいく。

問 強滝の整備は

答 多くの人が訪れる景勝地として維持していく

質問

四季を通して、人々に癒しと安らぎを提供してくれる強滝の景観は、全国に誇れる村の宝であると考え。針葉樹などの間伐によって、一層景観が良くなるのでは。

答弁(村長)

昨年秋季に森林環境基金森林整備事業により間伐を実施したところ

である。この事業を利用すると、15年間再度間伐ができないという制限を受け、現状では間伐ができない状況であるが、今後も多くの皆さんが訪れる景勝地として維持していく。



京條 英征 議員

観光開発

問 「黄金のトライアングル構想」を問う

答 人口ビジョン総合戦略を策定し、一人一人が輝く村づくりを進めている

質問

人口減少と超高齢化が加速する一方であり、先行き不透明な時代である。28年度の村の出生数は13名であり、この10年で約1000名に近い人口減少である。

日本も、鮫川村も今桁外れの時代に突入している。

それでも未来を担う子供たちに、鮫川村に生まれて良かったと思ってもらわねばならないのは明らかである。

無いものねだりではなく、有るものを探し、磨きをかけ、豊かさを発見し誇れる村づくりができないだろうか。そこで、「鮫川村黄金のトライアングル」と題した全村公園化と滞在型の観光地づくりを考えてみた。

館山公園と湯の田温泉、手まめ館を擁する

村中心地、鹿角平と仲田植物園を結ぶ遊歩と癒しの青生野地区、3つ目に江竜田の滝めぐりと大橋の景観と生薬の里づくりの渡瀬地区を活性化させるというのが観光のトライアングル構想である。

青生野に10町歩の仲田植物園がある。



秋の仲田植物園

鹿角平を名実ともに花もいっぱいある観光牧場にし、県内一の子供の遊び場を造り、江竜田の耕作地を生薬でいっぱいにし、健康の丘として発信してはどうか。

中心地の館山公園と湯の田温泉、県内有数

の魅力あふれる観光地になる可能性は十分あると考える。

今まさに、村と子供たちの未来を決める岐路に立っており、決断を迫られていると自覚するべきである。

村長の考えは如何か。

答弁(村長)

村では第4次振興計画として、つながりで支え輝く村づくりの実現に向け、お互いに置かれた立場を理解し、助け合おうという理念のもと、人口ビジョン総合戦略を策定し事業を展開している。

事業の維持を継続するためには、恒久的な財源の確保や地域経済の効果がなければならぬ。さらに人材の確保も大きな課題である。

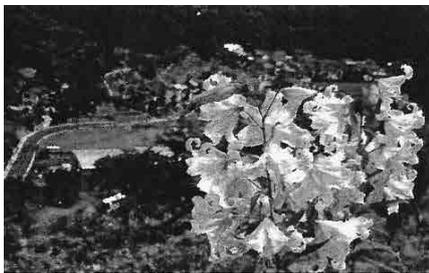
再質問

全村公園化構想をもう少し説明させていただく。

仲田植物園は仲田茂司氏が所有し、村の自由にはならないが、2度案内して頂き、講演も聞き懇談もできた。



江竜田の丘



館山公園のヤマユリ

その折に積極的な一般公開の了解は得ている。危険な所はほとんどなく子供も走り回って遊ぶ、年配の方も安心して園内を見て回れる県内随一の植物園であり、まさに宝物である。江竜田も安心して滝めぐりができるよう遊歩道を整備したら、連泊しても回り切れない観光地になると考えるが如何か。

答弁(村長)

トライアングル構想、素晴らしい提案と考える。宝物に磨きをかける、これも再確認したところである。

仲田氏は幸せの国ブータンで秋篠宮眞子様のご接待をしていた。素晴らしい尊敬のできる方だと思っっている。ご協力頂くには準備、時間が必要だと理解いただきたい。



堀川 照夫 議員

学校教育

問 青生野小学校統合の経過を示せ

答 青生野区総会及び青生野地区組長評議会で承認



来春から統合予定の青生野小学校

質問

平成28年度第6回議会定例会において、青生野小学校の統合は平成30年4月を目安と答弁したが、今後の目標について伺う。

答弁(教育長)

12月議会後の経過を申し上げますと、今年1月に区長と教育長が意見の交換を進め、3月19日に青生野区総会で承認された。4月7

再質問

閉校に向けて今後の日程について伺う。

答弁(教育長)

青生野小学校と連絡を取り合い、平成29年度の卒業式の翌日、平成30年3月24日に閉校式を予定し、学校や地域の皆様の理解と協力を得ながら、子供たちへの指導や諸準備を進める予定である。

再質問

閉校後の小学校の利活用について伺う。

答弁(教育長)

小学校の利活用は村民の皆さんから提案を

日、区長、PTA会長、校長、教頭で打ち合わせを行い、4月19日に青生野地区第1回組長評議会でも承認されたと報告をいただいている。

再質問

閉校後に住民の皆さんが利用の仕方を、上手に利用の仕方、まだ補助金を受けて10年も過ぎていない。この辺を考えながら対策を立てて行く。いい提案、皆さんの有効活用を考

答弁(村長)

いただき、知恵を出し合うことを村づくりのお役に立てればと思っ



野外学習する青生野小児童